

水郷

第 18 号 平成26年9月15日
(2014)
コミュニティ協議会ニュース

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 江南区横越出張所
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
電話 385-2111

水郷の花嫁さんは舟で行く



この写真は潮来市から提供いただいたものです。

ごあいさつ

横越地区コミュニティ協議会

会長 本間 一人

横越地区コミュニティ協議会では月に一回の定例会、年一回の総会で一年間の活動方針を決定させて頂き、直近の課題については実行できるものは即、実行し、長期的課題については行政とも相談しながら実行してまいります。

来年度に向け進行中のもので、行政の空きスペースを借りてコミュニティ協議会の活動拠点を整備、住民が気楽に立ち寄れるスペース、相談窓口、若者支援、児童の居場所づくりなど等考えてまいります。

長期的であり特に重要な地域の課題は、新潟市が国の農業特区の指定を受けて動き出したニューフードバレーと二本木地域の新駅と周辺開発であります。

横越地域の合併建設計画は新駅を除いては全部完成いたしました。長年の懸案でありました二本木駅（仮称）は実現してないのであります。

が前述の農業特区のからみで再浮上し、江南区の最重要課題として動き出しています。

中央環状道路の建設が旧49号線まですすみ、その先の信越線が跨ぎ、国道8号線までの路線が決定されました。この機会に二本木の跨線橋と駅舎を同時に完成させて頂きたいものです。

上の写真は潮来花嫁さんで有名な潮来市から借用したのですが、小阿賀野川を酒屋地区から遡上、北方文化博物館で結婚式を挙げるという「みずつち文化創造・市民プロジェクト」として十月に行うものです。かつて水運が活発な頃、あつたであろう結婚式を行い地域興しを実施いたします。九月にチラシ、広報を使って周知いたしますので小阿賀野川の堤防上がいつぱいになり、楽しいイベントとなりますように皆様のご支援をお願い申し上げます。

「ニューフードバレー構想に思う」

副会長 田村 唯次

新潟市が国家戦略特区の中の農業特区に選定されたことから、二本木・割野・茅野山・日水にまたがる約二四〇haに於いて、ニューフードバレー構想（江南の郷）の協議が進められている。

農家が抱える担い手の問題や、農業の産業としての発展を模索すると共に、この地区には近い将来、新潟中央環状線が通り、（仮称）二本木駅構想もある事から、住民にとつての新しい街づくりを考えるとという視点もある。

例えば、農業農村は今大変な時代を迎えている。担い手の不足と収入の減

少により、昔のように地域全体が共同体として存続していくとは考えにくい。

人は、生まれ育ち暮らす地域の自然・文化・人との繋がりに愛着を持ち、生きて来たんじゃないだろうか。

日本人の人間力が試されている様なきがする。

農家も非農家も、その地域に暮らす一人一人がどういう地域を望むのか考え、行動する時期に来ているの

だろう。とりとめ無くなってきたので、これで終わります。

にいがた市民大学受講報告

副会長 佐藤 正明

五月三十一日、第二十期にいがた市民大学に本間会長と共に入学し、毎週火曜日七時から九時まで一日も休まず通学し、無事全課程を修了いたしました。

入学式には、二〇〇〇年にノーベル化学賞を受賞された筑波大学名誉教授

の白川英樹博士から学問に取り組むことの大切さについて「自然に学ぶ楽しさ」など、セレンディピティ（偶然や失敗から素晴らしい発明や発見をすることの意）の重要性について受講いたしました。二人で選んだ新潟学連携講座は、「まちづくりの現在と行方」で

あります。

第一日目は、県立大学国際地域学部教授、山中知彦先生による新潟のまちづくりの課題について。

二日目は、新潟大学名誉教授、大熊孝先生による「越後平野の変遷と自然環境の保全と再生」について。

三日目は、新潟大学工学部の岡崎篤行教授より「柳都新潟、湊町の再生」として歴史的環境と保全について学びました。

四日目、県立大学、国際地域学部、関谷浩史准教授より「都市イノベーションから生まれる巨大な経済効果とは」として、その鍵は次世代インフラへの積極的投資にあるとの講義。

五日目に、青陵短期大学の村山和恵助教教授より「観光まちづくりに必要な視点とは」として受講しました。

六日目は、医療福祉大学教授、丸田秋男先生から「二十一世紀型地域コミュニティの再生」について。

七日目は、新潟大学教育学部、山口智子准教授より「農業から新たな食ブランド創出に向けたまちづくり」六次産業化と食ブランドの創出について西区に穫れたさつまいもを活用した「いもジェンヌ」の話し等。

八日目、新潟工科大学、池濃茂雄教授より「自然災害に勝つ家、負ける家として、地震、津波、豪雨等の自然の脅威の分析」について。

九日目は、国際情報大学の内田亨教授より「区自治協議会」について。

十日目は、敬和学園大学人文学部の一戸信哉准教授より「まちづくりⅡソーシャルメディア」の可能性を考えるとして、コミュニティの活性化する方法を探りました。

八月五日に全講座を修了いたしました。久々の受講で感じたことは、大学教授特有の理論建ての講義は、時には眠けを感じたりしましたが無事全課程を修了いたしました。

九月より後期ゼミナールが始まりますが、日程が合わず断念いたしました。配布された資料を再読しながら地域コミュニティづくりや、まちづくりの役割を果たして行きたいと思っております。



会場の新潟市生涯学習センター（中央区礎町通）

健康福祉部会の動き

健康福祉部会長 中村 実

始めまして、今年より横越地区
民生委員・児童委員協議会よりメ
ンバー入り致しました中村です。
よろしくお願ひ致します。

日頃は皆様方からは横越コミュニ
ニティ協議会の活動にご理解とご
協力を頂いておりますことに感謝
いたします。

さて、一日のスタートは朝ごは
んからとも言うように朝ごはんの
大切さというものを皆さんに理解
していただきたく、部会では今年
新企画といたしまして「おはよう
朝ごはん料理講習会」を計画致し
ております。

朝ごはんの大切さを理解し、次
世代の子どもたちを育み、地域全
体が元気になれる、そんな願いを
込めた事業でありますので、ご期
待ください。

最後に、明るく豊かな環境のま
ちづくりに関して、皆さんのご意
見等がございましたら横越コミュニ
ニティ協議会メンバーまでご一報
下さい。今後共よろしくお願ひ致
します。

世代間交流事業

今年もやります

まちづくり部会長 長谷部 一裕

現在や将来のことをテーマに各世代
の住民の皆さんの目線で横越の現状、
課題、それに対する取り組みを考え、
意見を交換し、横越の将来像について
考える機運や未来につながる萌芽を育
てること（次を担う世代を育てること
）を通じて世代間の交流を深め、各
世代が協力して横越における地域課題
を解決していこう！と考えて始めた取
り組みです。

昨年は「世代間交流&横越を考える
集い」と銘打ち、横越を語るワークシ
ョップを開催して、各世代から八十名
近い方々のご参加をいただきました。
小学生、中学生の皆さんも交えて、各
世代の色々な分野で活躍中の皆さんか
ら意見交換をしていただきました。

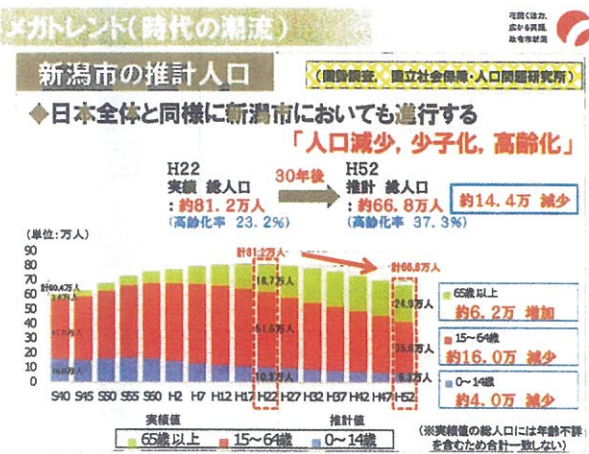
それだけでも各世代の交流が深まっ
たという意義がありました。さらに
ワークシヨップにおいて、交通、自然、
歴史、地域間格差、挨拶、新旧住民間
のコミュニケーションなどの横越の良い点、
悪い点をピックアップしていくことで、
地域の課題を浮き彫りにすることが出
来ました。

そこで、これらの課題をどうして行
つたらよいか考えていかなければなり
ません。まずは交通弱者の問題をどう
するか、高齢者や、子供たちの交通手

段の確保を考えていかなければならな
いということですが、さしあたり住民
の足としての「横バス」をより便利に
していくことが大切だと思います。

今年の世代間交流は九月二十一日に
実施されますが、（この広報誌がお手
元に届く頃には、すでに終了している
かもしれませんが）「人口減少と社会保
障」をテーマに地域としてどう対処し
ていくかを考えたいと思います。講師
には新潟市社会福祉協議会常務理事の
高橋勝太郎さんをお迎えして基調講演
をしていただきます。続いて参加者全
員でワークシヨップを行いますので皆
さんの活発な意見をお聞かせいただ
きたいと思ひます。

そこで話合った結果についても早い
段階で公表してまいりたいと思ひます
ので、よろしくお願ひします。



教育文化部会の動き

教育文化部会長 坪谷 さゆり

各地区では、秋祭りの準備に忙
しくされている方もいらっしゃる
のではないのでしょうか。

今後の教育文化部会は、以下の
活動を主催したいと考えておりま
す。

メディアで報道される青少年に
よる事件が多いなか「子どもも大
人も自分を守るためにはどうした
らよいのか？」をテーマに、講師
のお話を聞いたり、情報交換が
できるような「セーフティ・カフ
エ」を開催いたします。（十一月
頃）

もう一つは「おはよう朝ごは
ん」講習会を、食育マスターさん
を迎えて行います。お話を聞いて、
参加者の皆さんで実際に作って試
食します。

異世代の方々との交流もでき
ると思ひますので、「学ぶ」ことが
きつとあるのではないでしょ
うか。（一月頃）

詳しい内容が決まりましたら、
チラシを配布いたしますのでよろ
しくお願ひ致します。

平成二十六年 横越コミュニティ協議会 協議委員・役員名簿

よろしくお願ひします

役職等	氏名	所属部会	所属団体等	現・新
相談役	神田 勝郎			現
会長	本間 一人		横越地区文化協会	現
副会長	佐藤 正明	教育・文化部会	木津自治会	現
〃	田村 唯次	健康・福祉部会	横越スポーツ振興会	現
運営委員	残間 昇	教育・文化部会 ○	横越小学校 P T A	現
〃	井越 正夫	教育・文化部会	横越中学校父母と教師の会	現
〃	宇野 勝幸	まちづくり部会	木津自治会	現
〃	中村 実	健康・福祉部会 ◎	横越地区民生委員児童委員協議会	現
〃	井上 慧	健康・福祉部会	川根谷内自治会	新
〃	岩田 義博	まちづくり部会	藤山・駒込・うぐいす自治会	新
〃	吉田 啓一	健康・福祉部会 ○	江南区社会福祉協議会	現
〃	坪谷 さゆり	教育・文化部会 ◎	公募委員	現
〃	仲村 義信	教育・文化部会	二本木自治会	現
〃	長谷部 一裕	まちづくり部会 ◎	横越異業種交流会	現
〃	原田 勤	まちづくり部会 ○	横越商工会	現
〃	小池 保夫	教育・文化部会	横越新田自治会	新
監事	若生 昭男	まちづくり部会	二本木自治会	現
〃	高橋 博	健康・福祉部会	沢海区会	現

協議委員	中村 淳一	健康・福祉部会	老人クラブ連合会横越地区協議会	現
〃	熊木 惣衛	まちづくり部会	横越美浦交流協会	現
〃	田村 雅俊	まちづくり部会	横越地区地域公民館協議会	新
〃	阿部 嘉寿一	健康・福祉部会	横越東町自治会	新
〃	中村 正孝	教育・文化部会	沢海区会	現
〃	松本 里志	教育・文化部会	茜ヶ丘自治会	新
〃	小舟戸 正夫	まちづくり部会	小杉自治会	新
〃	斎藤 孝幸	健康・福祉部会	横越新田自治会	新
〃	佐藤 忠志	教育・文化部会	小杉自治会	新
〃	田村 秀一	教育・文化部会	藤山・駒込・うぐいす自治会	新
〃	瀧澤 慎吾	健康・福祉部会	横雲ニュータウン自治会	新
〃	坂井 豊明	まちづくり部会	横越上町自治会	新
〃	目黒 幸子	健康・福祉部会	横越連合婦人会	現
〃	横山 幸弘	まちづくり部会	横越東町自治会	現

地域貢献としての 環境美化事業の実施

まちづくり部会長 長谷部一裕



環境美化対策事業として子どもたちの教育環境改善に資するため、横雲会（旧横越町建設業協会）の皆さんに横越中学校グラウンド廻り側溝の清掃をお願いしました。

昨年は横越小学校グラウンド内側溝の清掃をしていただきましたが、今年は横越中学校グラウンド廻り側溝の清掃を実施していただきました。

当日は天候にも恵まれ、横雲会十社、総勢二十四名の皆さんにより、側溝清掃から道路清掃まで、午前中に無事に終えることができました。快く引き受けて頂いた横雲会の皆様、大変ありがとうございました。

この環境美化事業は、コミュニティ協議会設立以前より横雲会で地域貢献事業の一環として長年にわたり道路の空き缶拾い、旧49号線街路樹植栽の剪定作業、横越小学校脇道路側溝清掃などを横越町建設業協会当時から行なってきました。

コミュニティ協議会まちづくり部会は今後も横雲会と協力して、より住みよい横越を目指していきたいと思ひます。